

武雄市議会だより (フェイスブックも) 始めました

# 栄八通信

http://ei-8.info/  
第82号

R3年14(7)10月発行



武雄市議会議員  
宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 市 コロナワクチン接種 10月完了を目指す

コロナのワクチン接種の情報を取りまとめると、前回の4月通信では978人分のワクチンの供給の予定しもなく長期になるのではと記していた。

ただ現在、6月末で65歳以上の8割接種を見込む12,112人の2回分24,224回の必要数に対し、倍近い、40,170回分が供給され、いかに効率的に打つかが課題となってきた。

市は、交通弱者の65歳以上が終了する7月末で保健センター等での接種を終了する一方、7月12日からは、武雄町永島の元の古着屋跡(イオン九州所有)から無料で借りて大型集約会場を設置する。現在の週間接種は約900回から、1.3倍の約1,200回になる見込み。

武雄市コロナワクチン配分		
4月28日	4箱 (5回)	3,900回分
5月18日	8箱 (6回)	9,360回分
5月30日	7箱 (6回)	8,190回分
6月10日	6箱 (6回)	7,020回分
6月末週	10箱 (6回)	11,700回分
7月分は未定	計 40,170回分	
65才以上人口	15,140人	
8割	12,112人	
必要回数	24,224回	
64才以下の接種券発送		
6月21日	64～60才	
6月28日	59～55才	☆
7月5日	54～50才	
7月12日	49～45才	
☆エッセンシャルワーカーも		

## フードバンクに 冷蔵庫購入補助

不用品を経済的に困った人へ配布する、いわゆるフードバンク事業、今回、北方町に拠点を置き、元年の水害の時も被害者支援をされた、「おもやい」さんが実施された。干物だけでなく、冷蔵庫を購入し、野菜など保管などで多くの食材を活用できる。国が67万円で市が29万円を負担する。

## 防災アプリの バージョンアップを

防災有線の戸別受信機の設置は16,932世帯中、8,046世帯が設置希望し、現在4,019台が設置され、12月ごろに設置完了を予定している。

一方、スマホなどの携帯電話に防災アプリを入れて情報を取ることとも6月からスタートしたが、現在1,381のダウンロード(取り込み)がある(6月時点)。

私は、戸別受信機の希望を取る時点で、アプリの方も同時に提案し、より必要な方を選択してもらえば市の財政としては良いのではないかと考えてきたが、アプリが後になつた。ただ、アプリで事が足りた場合は戸別受信機のキャンセルもできる話。

ただ、市は、多くの情報ツールを持っていただいた方が良いとの主張。一方、戸別受信機が有線です。

## 武雄温泉楼門の 保存修理

札幌の時計台のように、武雄市を画像で象徴するのが、武雄温泉楼門。平成17年に国文化財になり、平成20～25年に塗り替え等の改修をして、現在ライトアップされて温泉情緒を醸し出している。

今回、漆喰壁上部と北翼屋という横の建物のシロアリ被害も保存修理を行う。480万円で国1/2、県・市・所有者が各1/6の78万円を負担し、来年3月ぐらいには完了する模様。



楼門と北翼屋

## 市役所 窓口業務の民間委託とコンビニ交付

今年10月を目標に市役所窓口業務が民間委託される。私自身は以前から導入を求めていたので、歓迎しているが、それだけに、逆に二度手間や経費増にならないように注視したい。また、市の負担が減るだけでなく、利用者の市民が記入減などサービス向上につながるならなければ意味がないとの考え。

現在の状況は、プロポーザル(提案入札)が終了し、全国的な民間委託を受ける「協立メンテナンス」と3年半を約1億5,000万円で契約している。7月より業務のすり合わせを行う。14名程度のスタッフで行う模様。玄海町や篠栗町などで受託中との話。

一方、私は、最近ハンコが省略になったものの、記入や本人確認の提示とあまり簡素化されていないように思うし、市の職員も、免許証番号を控えたり、お互い大

変なのでマイナンバーカードを見れば、記入等の省略ができるようにこの際、はかつてもらいたい。【証明書のコンビニ交付】これについては、12月に開始を予定している。私は、以前から何度か提案してきたが、質問の聞き取りで職員とやりとりすると「実施自治体での利用者率が多くない」や「費用対効果が合わない」との説明を受けていた。しかし、銀行も現在ほとんどがATMを利用している状況を見ると利用者には利便性があると思う。そこでコンビニ交付による、人件費を含めた計算を求めていたが出されなかったが、コロナ対策の交付金を活用しての実施を市長が判断。ただ、銀行のATMと同様に手数料が50円でも安くないと、人件費が減るところまでの利用はないと思う。

## プレミアム第二弾 GOGO商品券の中身

昨年コロナ対策のプレミアム商品券(ニコニコ)が発売された。今7月、第2弾のGOGO商品券が発売される。前回の早い者勝ちの反省から、今回は各世帯に5,000円券の2冊分の引換券を送付し、各地12の郵便局等で購入する形になっていて、8月までが購入締切で利用は11月まで。

一世帯分2,500円を上乗せするので、総額の市負担は9,500万円。業務を、今回なぜか商工会議所等ではなく、観光協会に2,700万円を全面委託するとの話。ただ、購入場所の武雄郵便局などは、駐車場がいつもいっぱいなので、混雑が心配されるが、引換券の発送を2週間内ですらして発送し、全世帯分あるので、急がずに購入してほしいようだ。

今議会、山内町の乳待坊公園条例が改正され、管理・運営全般を民間に任せる指定管理が導入できるようになった。これは、キャンプ場の利用拡大を考えたものと思う。10月ごろ選定して来年度より実施する模様で公園課が担当している。市内、もう一つの若木の眉山キャンプ場は生涯学習課が担当と、バラバラで今のところ指定管理は考えていないとの事。

## 黒髪山の 乳待坊公園が指定管理へ

今議会、山内町の乳待坊公園条例が改正され、管理・運営全般を民間に任せる指定管理が導入できるようになった。これは、キャンプ場の利用拡大を考えたものと思う。10月ごろ選定して来年度より実施する模様で公園課が担当している。市内、もう一つの若木の眉山キャンプ場は生涯学習課が担当と、バラバラで今のところ指定管理は考えていないとの事。

いづれにしてもキャンプ場の利用拡大を考えると、オートキャンプ場など現代に合ったキャンプ施設整備を図るのが先と思う。特に眉山キャンプ場の道路は離合地などの整備が必要。

今後、保養村のキャンプ場も計画されているので、それを含めて整備のあり方を検討してほしい。



### 文化のまちづくり 文化会館の改造と 構想と

市は、文化のまちづくり構想を策定するとして、有識者16名を委員として11月までに6回開催する。別にそこに提出する調査研究の業務委託先を公募したが現在図書館の管理をしているカルチャーセンターニエンスクラブ(CCC)が580万円を受注していて、デザイン会議に3回程度出て報告するとの話。

一方この構想は、文化会館等の今後の整備計画を決めるためのものと思っていた。しかし、驚くことに別のものと言う。文化会館・大ホールは長寿命化・小ホールは北方文化センターに統合、あとの集会、成人・勤労者青少年ホーム棟は集合複合化の方針はアセット計どおりに令和8年までに実施するとの事。では何の為の構想なのか疑問！

### タブレット活用 不信から期待へ

私は、はつきり言って、タブレット導入に疑問を持っていた。それは児童生徒に一人一台を持たせていると言うことを、先進地のように見せることで、名を売ろうとしているように映ったから。以前、タブレット選定委員会も、故障の多いキヤノン製を選ぶなど何か、納得のいかないことばかりで不信感を持っていた。

ただ、最近は期待している。今回コロナ対策費用で、タブレットを買ったが国の上限設定もあったためか、納得できる選定。また、5月から「タブレットドリル」を小中学生全員に導入した。これは、自らわからないところを学べて、経済的に塾に行けない子供の救済にもなる。ただ問題は、タブレットの持ち帰りが校長の判断になっていて誰一人取り残さない教育の実現は校長にかかっている。

### 武雄市下水道戦略 料金値下げはR14か

総務省が、平成26年に、全国の水道・下水道・工業用水道などの公営企業が人口減少や施設老朽化で運営が悪化すると見て、全国自治体に、比較しやすく同一形式での「経営戦略」の策定を求めた。今回、5年目の見直しを作成した。

そのポイントを紹介すると市民に関係のある、料金改定については、「起債償還額の減少後を想定」と書かれていて、その時期が具体的に書いてないので聞く、令和14年とずっと先でがつく。

元々、合併時に、使用料は処理の維持管理費程度を負担してもらおうとの方針なのが、ゴールを起債利子負担などに変えて料金改定をしないのに不信感を持つ。※その他には、○処理場の電力入札の実施○公共下水道の規模設定や農排の処理場統合などある。

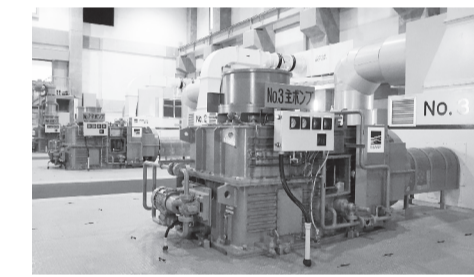
### 水害対策 河川整備の状況

令和元年の水害は、北方町、朝日町、武雄町、武内町などが大きかった。それぞれの対策の状況を整理してみた。

○六角川の河道掘削Ⅱ大町橋から武雄川との合流点(橋町二俣東)の計画は整備完了。

○朝日町の高橋排水機場(高橋川・甘久川の水を排水)のポンプの増強3年間で3基をポンプ改造。今秋着工50tから61tへ。

○武雄町上西山の人的被害のあった武雄川は、もみの木さん付近より上流山側を買収し護岸工事をすする一方、正光寺堰を上流部に移動、激特事業なので5年間で県が整備。



高橋排水機場のポンプ (1機約3tで11t増)

の皿堰を解体して下流に可動堰を作る。同時に河川幅も2倍に広げる。令和3年3.7億円が予算化され、相続関係で土地交渉に時間がかかっているとの話。

○北方町の広田川に新たに排水機場を県が整備する。計画は毎秒5tで1tを5基設置。場所は、北方小学校の南で、元の扶桑コンクリート置場の所、これも激特事業なので、5年間で県が整備。

○東川登町の大坪石材の前のく字形に曲がった六角川の直線化を国の武雄河川事務所が行っている。用地の取得は概ね完了している。

これは、六角川洪水調整池整備の前段階の工事だが、近年の東川登町の冠水低減には役立つと思う。

### 人口増加の為に住宅用地政策必要

人口減少が全国的に進む中で、地方においても大きな課題。

同規模の伊万里市の減少率が4.7%に対し、武雄市は2.2%と半分程度で減少率には頑張っている。その主な要因は世帯数が伊万里市272増に対し、武雄市は、653世帯と、自宅やアパートの建設が進んだことが貢献していると思う。

また、移住者が武雄に家を建てた理由で一番多いのが「適当な土地が売りに出されていた」で、宅地の供給が必要条件の最大要因。

嬉野市等は、新幹線駅前を区画整理して、市が住宅分譲を実施している。以前、一般質問で、武雄市による住宅分譲について尋ねたが、しないとの回答。

そうならば、民間業者の分譲や開発に頼る事に。その後押しをする為には、都市計画変更や新しい道路整備によって、業者が宅地化しやすい環境を作ることが重要になる。

### 提案 横断下水路が必要では

北方中央地区の冠水は、上流にある川添川排水機場の守備範囲となっていた。しかし、実際は排水できない状況なので、国への陳情の時に川添川排水機場と別に下流にも必要ではとの意見もした。その後、新幹線問題で、近くの掛橋踏切が冠水するので運休になるとの話が大きくなり、下流の広田川を管理する県が調査はしていた。元年の水害の激特事業に採択されて具体化を想定して、今回改めて調査し、7tと5tの比較検討をしてきた。私は県に能力の大きい7tに何回も要望。

結局は、5tになったその理由は、もともと広田川は大きな川でなく、7tをつけても水が集まらないとの理由で一理ある。

北方町北部の河川は、南の六角川に向かって小さい河川がたてに排水するようになっていて、広田川で排水できるのは、他の川が溢れて、流れ込んだ時に役立つ。最近考えるのは、溢れる前に広田川に流すための横に繋ぐ都市下水路の整備が必要ではないかと思う。そうならば、中央地区が冠水する前に、広田川方面に流れ、水が集まればポンプを7tに増強して、面的な水害対策ができるのでは、という。



### 消防団員100名減に 定数

今議会、消防団員の定数条例が改正され、1,470人以下から100人減の1,370人以下に改正したが、現状の団員は1,360人程度で実数に近づけただけで、特に問題は無いとの事。

また、最近新聞で取り上げられている、消防団員の手当を国が団員本人に直接渡すよう指導している問題。武雄市など多くは町単位の分団に団員分を渡して後々の分配はタッチしていない。多分、その中から分団や部の活動費を出すために個人に行かないと思われ、県内市で唯一、伊万里市は団員に直接渡しているが、議会の指摘で令和元年より実施した。

その為、市が分団に一人当り4,000円分を交付している。また、人口は多いが、団員は約900人と少ない体制。

### 新型コロナの 臨時交付金活用状況

武雄市には令和2年度に、11億9,199万円が入り、令和2年度内に8億7,388万円が使用されて、令和3年度に3億1,810万円が繰り越されている。その約3億円の使用方法は、GOG商品券発行、観光キャンペーン、持続化給付金、PCR検査に使用される。